

## 管路健全度評価の 共同研究等を紹介

管診協

管路診断コンサルタン  
ト協会（管診協）は6月  
30日、東京都中央区のク  
アトロ室町ビルで技術  
ショーケースを開催し  
た。同協会会員向けに国  
や自治体から講師を招  
き、下水道施策について  
学ぶ講習会と、会員企業  
や連携する他団体が各自  
ブースを出展し、実物も  
使って技術を紹介するミ  
ニ展示会の2部構成で行  
われた。

第1部の講習会では、  
管診協技術委員会の山下  
徹氏が、アセットマネジ  
メント推進に向けた取り  
組みとして、管診協と会



技術ショーケース

第1部の様子

員社など10社、日本下水  
道新技術機構などと取り  
組む、「管渠の長寿命化  
に資する診断等に関する  
共同研究」について紹介  
した。主な研究内容とし  
て、管路の部分的な補強  
技術に関する課題の抽出  
と適用可能性に関する検  
討、緊急度判定に代わる  
新たな健全性の評価手法  
に関する検討、診断の充  
実化に関する検討などを  
挙げた。

また、国土交通省下水  
道部下水道事業課の川島  
弘靖氏は、国交省の下水  
道施策の最新の取り組み  
として、内閣府のPPP  
／PFIアクションプラ  
ン改定に伴い、PPP／  
PFI未実施の自治体を  
対象に、コンセンション  
に段階的に移行すること  
を目的に新たに設定され  
た官民連携方式「ウオー  
ターPPP」について紹  
介した。

講習会ではさらに、葉  
山町環境部下水道課の秋  
本圭介氏が、葉山町の処  
理場アセットマネジメン  
トと、水処理へのAI導  
入に向けたソフトベン  
ダーフリーの取り組みな  
どについて紹介した。